

## すてきな6年生

副校長 廣野 寛子

高井戸小学校に赴任して2か月たち、6年生のすてきさに感心しました。

入学して間もない1年生のお世話では、学校に行くのが嫌だと泣いている1年生に優しく寄り添う姿を何度も見かけました。おかげで今はみんな元気に教室に入っていきようになりました。また、校内の手すりが壊れかけた時は、自分もたれかかったせいかもしれないと申し出てくれた6年生が何人もいたという話を聞きました。たてわり班活動では、下級生をリードして意欲的に話し合いを進めました。スポーツフェスティバルでは練習の時から気迫があり、本番では、迫力ある素晴らしい演技を見せてくれました。

そんな6年生は、下級生の憧れです。

「6年生は学校の顔」だと言われます。「あんなにすてきな6年生になりたい。」とみんなが思うようなすてきな学校にしていくお手伝いをしていきたいと思います。

## 様々な角度や方向から見てみる

副校長 山田 章浩

毎朝、子どもたちが登校する前に校内を回るのが日課になっています。複雑な高井戸小学校の校舎…。初めは、迷うこともしばしば。「あれ?ここさっきも見たな。」という状況でしたが、ようやく慣れてきました。毎日回っていると、自然とお馴染みのルートができます。これは「効率的に回る」という利点がある一方で「マンネリ化」という側面も併せ持ちます。そのため、たまに違うルートで回るようにしています。するといつもとは違うものが見えてくることがあります。

子どもたちの学びについても同じことが言えると思うのです。問いに対する自分の考えを大切にしながらも、友たちの考えを聞いてみる。そうすることで、新しい発見があったり、疑問が生まれたりします。そしてそれを、一緒に探究していく。高井戸小の子どもたちが、ものや考え方を様々な角度や方向から見ることのよさを味わえるような学びを進めていきたいと考えています。

## 6月の生活目標 『 あいさつをしよう 』

生活指導部

毎朝、登校時間になると子どもたちの挨拶がたくさん聞こえてきます。子どもたちの挨拶を聞くと、「今日も元気に頑張ろう」と力が湧きます。ここ数年は、元気な声で挨拶をすることも制限されてきましたが、ようやく元気に笑顔を見せて挨拶ができるようになりました。

そこで、今月は「相手に聞こえるような元気な声であいさつをすること」「主事さんや給食さんへ自分からあいさつをすること」を意識してみましょう。

相手に聞こえるような元気な挨拶は、周りの人を元気でいい気持ちにさせるすてきな力があると思います。元気なあいさつがたくさん聞こえると、「あいさつホワイト」が喜んで高井戸小学校にやってくるかもしれませんね。

あいさつレベル1(6月の目標)

☆ 相手(あいて)に  
きこえる声(こえ)で  
あいさつできる人  
○主事(しゅじ)さん、  
給食(きゅうしょく)さんへ  
進んであいさつしよう。

